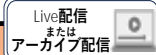


★評価結果が「使えない」をなくす～バイアス対策・試験設計・データ解析のポイント～
 ★「なんとなく評価」から脱却～分析型・嗜好型評価の違いと使い分け～
 ★官能評価データの取り方・見方・活かし方 ★「評価人材」を育てる～パネル選定・訓練のコツ～

セミナーNo.607206



「官能評価」の 基本的な考え方、その種類と進め方、活用

～食品・飲料開発のための官能評価入門と実務活用～
 ～再現性のある評価設計・パネル運用・データ活用のポイント～

- 日時:2026年7月15日(水) 10:30～16:30
- 会場:Zoomを使用したLive配信
※アーカイブ配信は7月27日～8月6日に実施
- 聴講料:1名につき55,000円(消費税込,資料付)
[1社2名以上同時申込の場合のみ1名につき49,500円(税込)]
[大学、公的機関、医療機関の方には割引制度(アカデミック価格)があります。]

●講師:立命館大学
食マネジメント学部 教授
國枝 里美 氏

【主な著書】 必読 官能評価士認定テキスト(分担執筆),
食品開発論(分担執筆), 他
【学会・委員会活動】 日本味と匂学会, 日本官能評価学会,
オプフレーバー研究会, 他

【講座の趣旨】

官能評価を「感覚」から「再現性ある技術」へ。食品・飲料分野を対象に、基礎理論から評価手法、パネル設計、データ活用までを体系的に解説し、実務で使える進め方を具体的に学ぶ。

1. 官能評価の基本と考え方

- 1.1 官能評価の概要
- 1.2 官能評価の役割と重要性
- 1.3 再現性・信頼性の考え方
- 1.4 評価の環境(実務での注意点)

2. 評価手法の基礎

- 2.1 分析型評価と嗜好型評価
- 2.2 主な試験法(識別・順位・評定など)
- 2.3 評価用語と尺度設計
- 2.4 データ取得の基本

3. 官能評価の設計と運用

- 3.1 パネルの選定・訓練・管理
- 3.2 試料設計と提示条件
- 3.3 バイアス対策(順序効果・期待効果など)
- 3.4 実務での運用のポイント(現場での成功のコツ)

4. データ解析と結果の活用

- 4.1 基本的なデータの見方
- 4.2 統計の考え方
- 4.3 開発・品質改善への応用
- 4.4 社内共有・説得のポイント

5. 食品・飲料での実務事例

- 5.1 製品開発における官能評価
- 5.2 フレーバー評価の考え方
- 5.3 消費者調査との連携
- 5.4 成功例・失敗例

【質疑応答】

※受講者の皆様の抱える疑問点や問題点について、セミナー開催3日前までに「事前リクエスト用紙」(請求書に同封)を御寄せ頂けたら、講演中に対応させていただきます。

※アーカイブ配信への受講申し込みをされた方には、後日、視聴用URLおよびID・PWをお知らせします。

●申込方法

- 1. 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。
- 2. お申し込み後はキャンセルできません。
受講料は返金いたしませんので、ご都合の悪い場合は代理の方がご出席ください。

「官能評価」セミナー申込書

(Live配信/アーカイブ配信 下記のいずれかに☑を入れてください)

- Live配信 (No.607206) 開催日:7/15
- アーカイブ配信 (No.607256) 配信期間:7/27～8/6

- ・申込書に必要事項をご記入の上、FAX(03-5436-7745)にてお申込みください。
- ・ホームページからも申込できます。https://www.gijutu.co.jp/

会社名	事業所・事業部		
住所	〒		
TEL	携帯電話		
	所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail
受講者1			
受講者2			
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください(現在案内が届いている方も再度ご指示ください) 〔 郵送(宅配便)・ショートメッセージ(SMS, 携帯電話)・e-mail 〕			
個人情報の利用目的			
・セミナーの受付, 事務処理, アフターサービスのため		・今後の新商品, 新サービスに関するご案内のため	
・セミナー開催, 運営のため講師へもお知らせいたします			



申込専用FAX 03-5436-5080

- 3. 申込み人数が開催人数に満たない場合等、状況により中止させて頂く場合がございます。
- 4. 定員になり次第、申込みは締切となります